

## 西部公民館事業報告（12月17日～3月31日）

### 《その他》

#### 【本はともだち】

○ねらい：本を通して子と保護者が楽しいひとときを分かち合い、ふれあう機会を提供することで、幼少期の子供が健やかに育つための環境づくりの一助とする。

月 日	時 間	内 容	講 師	参加者数/ 定 員	備考
12月24日 (木)	10:30～11:00	絵本の読み聞かせ、紙芝居等	西部公民館 社会教育関係団体 かえる文庫	11 (5組) 男4女7 定員20組	2/2

○評価：コロナ禍ということもあり、例年の部屋より広い体育レクリエーション室で開催し、絵本の読み聞かせの際は遠くからでも見ることができるよう書画カメラを使用した。初めての試みではあったが、参加者の目にも新鮮に映り、保護者・子供ともに楽しんでいただくことができた。

#### 【アフター5 de 公民館】

○ねらい：日頃公民館を利用することが少ない地域住民に対して、仕事帰り等の時間を活用し、公民館に来館してもらい、参加者同士の交流の場を設ける。

月 日	時 間	内 容	講 師	参加者数/ 定 員	備考
12月17日 (木)	19:00～20:30	卓球開放	公民館職員	7 男2女5 定員12	2/2

○評価：本来のねらいである「参加者同士の交流」については、コロナ禍のため控えていただき、ペアを固定したうえで利用してもらった。卓球の球も抗菌仕様にするなど、コロナ禍でも安心して参加しただけのように準備し、参加者には楽しんでもらうことができた。

#### 【おもちゃの病院】

○ねらい：壊れたおもちゃの修理をとおり、子供たちに物を大切にすることを養ってもらう。

(共催：ふなばし「おもちゃの病院」)

月 日	時 間	内 容	講 師	参加者数/ 定 員	備考
12月19日 (土)	10:00～12:00	壊れたおもちゃの修理 (原則無料)	ふなばし「おも ちゃの病院」	11 男5女6 自由参加	2/2

○評価：例年は毎月1回開催していたが、今年度はコロナ禍のため、2回のみで開催となった。再開を待ち望んでいた方も多く、2回とも盛況となった。参加者の密を避けるために工夫したが、特に混乱もなく実施することができた。

## 法典公民館事業報告（12月17日～3月31日）

### 《その他》

#### 【クリスマス親子コンサート】

○ねらい：子育て支援事業の一環として、幼児を持つ母親・父親が安心して交流できる場と親同士の友達作りや子育ての不安解消を図る。

月 日	時 間	内 容	講 師	参加数/ 定 員	備 考
12月17日 (木)	10:30～11:30	0歳からのクリスマスコンサート～歌とピアノで届ける音楽の贈り物～	歌手 濱津 美穂 ピアノ 菊川 夏未	36 男11・女25 定員50	1/1

○評価：幼児と保護者が演奏に合わせて、手拍子をとったり、体を動かして楽しく参加している姿が印象的でした。参加者が交流する良い機会ができたことから、次年度も実施していきたい。

## 丸山公民館事業報告（12月17日～3月31日）

### 【まるやまおはなし会】

○ねらい：乳幼児期、児童の成長期に絵本等の読み聞かせをとおして、本に親しんでもらうことで、感性を豊かにし、想像力や語彙力を育む機会とする。

（共催：丸山公民館社会教育関係団体丸山おはなしの会）

月 日	時 間	内 容	講 師	参加人数 /定員	備 考
12月19日(土)	13:30～14:00	おはなし・絵本・パネルシアター	丸山おはなしの会	12	2/2

○評価：読み手である、丸山公民館社会教育関係団体の丸山おはなしの会会員は、マスク着用・ソーシャルディスタンスを十分にとり実施した。ここ数年の課題である、参加者を増やすことについては、今年度も課題として残る結果であった。来年度も引き続き、安全に考慮しながら、読み聞かせの楽しさを伝えるため、実施していく。

### 《成人一般》

#### 【シネマ倶楽部 MARUYAMA】

○ねらい：外出の自粛規制で自宅にこもりがちの中、外へ出るきっかけを作り安全を期した事業に参加できる場を提供する。

月 日	時 間	内 容	講 師	参加人数 /定員	備 考
12月16日(金)	9:30～11:30	映画鑑賞「カサブランカ」	—	30/30	2/5

○評価：コロナ禍の状況で安全を配慮した定員を設定、集客は難しいと考えていたが、2回目では定員いっぱい、楽しみにしているという声もあった。毎月問い合わせが多数あり、事業が完結できず残念であった。来年度も引き続き、外出のきっかけ作りとして実施していく。

## 塚田公民館事業報告（12月17日～3月31日）

### 《成人》

#### 【手づくりワークショップ】

○ねらい：暮らしのなかで様々なかたちで手作りできるものにチャレンジし、制作過程で学んだことを今後の生活に生かすことを目的とする。

月日	時間	内容	講師	参加者数/定員	備考
②12月23日 (水)	10:00～12:00	クリスマスのお菓子作り 「自家製シュトーレン」	栄養士 堀 優子	5 定員6	3/3

○評価：参加者がそれぞれ持ち寄った生地で作った文庫型手帳は、作り手の特徴が現れる作品となった。また、季節に合わせたお菓子作りを学ぶことで家族との食卓を囲む機会となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅で過ごす時間が増えたことから、本事業での手づくりの体験を今後の生活の中で取り入れていきたいとの声が多かった。

#### 【老けない身体づくり】

○ねらい：手話通訳付きの講座とすることで、健常者と聴覚障がい者がともに身体を動かし、参加者同士の交流から聴覚障がい者理解が深まることを目的とする。

月日	時間	内容	講師	定員	備考
12月18日 (金)	10:00～11:00	簡単な筋肉トレーニング	スポーツインストラクター 木崎 健太	6 定員12	3/3

○評価：手話通訳付きでの開催ははじめてだったが「聞こえる人達と同じ情報を得ながら楽しく体操ができた」と好評を得た。このような「インクルーシブ講座」は異なる分野の学習も視野に入れながら次年度以降も継続開催し、早めの周知で聞こえない人達の参加率が増すよう工夫する。

### 《その他》

#### 【卓球台開放】

○ねらい：卓球台の開放事業を通して、地域住民の交流と健康増進を図る。

月日	時間	内容	講師	定員	備考
12月17日 (木)	19:00～20:30	卓球台の個人開放	—	6 自由参加	4/4

○評価：常連の参加者に新型コロナウイルス感染症対策のための準備を手伝ってもらいながらの実施となった。ダブルスの禁止など制限が多い中でも、参加者同士の交流と健康増進の一助となった。公民館施設・設備の個人利用ができる事業として次年度も継続していきたい。また新たな参加者を増やしていけるよう広報活動にも力を入れたい。

## 【館報つかだの発行】

○ねらい：地域住民に対して広く公民館活動の情報提供を行う。

月 日	時 間	内 容	配布先	部 数	備考
12月18日	—	主催事業の案内	塚田地区	11,000	3/3

○評価：年3回発行した。公民館主催事業のお知らせや、社会教育関係団体の紹介、「おうち公民館」としておうちでできる健康体操の紹介などを行った。また、児童ホーム、社会福祉協議会からの情報も発信し、管区内住民に広く情報提供できた。今後も公民館事業が来館するきっかけになるよう、興味を示してくれる記事作りに努めたい。